

令和8年度調査研究課題 計画外部評価結果 [数値的評価]

5点満点（標準3点）の評点で5～1点の絶対評価としている。

課題名： 河川を浮遊・流下するプラスチックごみの AI(深層学習)による判別・計測手法の 確立ならびに海岸漂着マイクロプラスチック等の経年変化(継続)

評価項目	評価の視点	評点				
		5	4	3	2	1
進捗状況	計画どおりの進捗となっているか	-	4人	-	-	-
計画及び体制の妥当性	進捗状況を踏まえ、目的を達成するための今後の進め方が的確に設定されているか	-	4人	-	-	-
	情勢の変化に対応するなど必要に応じた計画内容・体制の見直しが適切に行われているか					

課題名： 環境 DNA を用いた生物多様性保全に関する研究(継続)

評価項目	評価の視点	評点				
		5	4	3	2	1
進捗状況	計画どおりの進捗となっているか	2人	2人	-	-	-
計画及び体制の妥当性	進捗状況を踏まえ、目的を達成するための今後の進め方が的確に設定されているか	2人	2人	-	-	-
	情勢の変化に対応するなど必要に応じた計画内容・体制の見直しが適切に行われているか					

課題名： 炭素および酸素に着目した PM2.5 粒子の詳細元素分析(継続)

評価項目	評価の視点	評点				
		5	4	3	2	1
進捗状況	計画どおりの進捗となっているか	1人	3人	-	-	-
計画及び体制の妥当性	進捗状況を踏まえ、目的を達成するための今後の進め方が的確に設定されているか	2人	2人	-	-	-
	情勢の変化に対応するなど必要に応じた計画内容・体制の見直しが適切に行われているか					

課題名：神奈川県内河川におけるベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤(BUVSs)の分析法検討及び環境実態把握(新規)

評価項目	評価の視点	評点				
		5	4	3	2	1
進捗状況	計画どおりの進捗となっているか	-	3人	1人	-	-
計画及び体制の妥当性	進捗状況を踏まえ、目的を達成するための今後の進め方が的確に設定されているか	-	4人	-	-	-
	情勢の変化に対応するなど必要に応じた計画内容・体制の見直しが適切に行われているか					

課題名：天然記念物仙石原湿原を守る!! -水質汚濁の原因究明と環境 DNA 生態系調査手法の開発による湿原保全体制の構築-(継続)

評価項目	評価の視点	評点				
		5	4	3	2	1
進捗状況	計画どおりの進捗となっているか	1人	2人	1人		-
計画及び体制の妥当性	進捗状況を踏まえ、目的を達成するための今後の進め方が的確に設定されているか	-	3人	-	1人	-
	情勢の変化に対応するなど必要に応じた計画内容・体制の見直しが適切に行われているか					

課題名：環境 DNA 技術を活用した流域関係者参画による河川生態系観測・保全体制構築に関する基礎研究(継続)

評価項目	評価の視点	評点				
		5	4	3	2	1
進捗状況	計画どおりの進捗となっているか	2人	2人	-	-	-
計画及び体制の妥当性	進捗状況を踏まえ、目的を達成するための今後の進め方が的確に設定されているか	2人	2人	-	-	-
	情勢の変化に対応するなど必要に応じた計画内容・体制の見直しが適切に行われているか					

課題名：自動車騒音常時監視を計画的・効率的に継続するための課題解決(継続)

評価項目	評価の視点	評点				
		5	4	3	2	1
進捗状況	計画どおりの進捗となっているか	1人	2人	1人	-	-
計画及び体制の妥当性	進捗状況を踏まえ、目的を達成するための今後の進め方が的確に設定されているか	-	3人	1人	-	-
	情勢の変化に対応するなど必要に応じた計画内容・体制の見直しが適切に行われているか					

課題名：大気中 PFAS の沈着による表層水への影響の推計（新規）

評価項目	評価の視点	評点				
		5	4	3	2	1
課題設定の背景と必要性	県としての考え方が示されているか	1 人	2 人	1 人	--	-
	センターとして（参画の妥当性）の考え方が示されているか					
優先性	社会的意義（行政上の緊急性や県民ニーズなど）の考え方が示されているか	2 人	2 人	-	-	-
	科学技術の動向や実用性などの考え方が示されているか					
計画の立案と実施方法	明解な目標が立てられているか	1 人	2 人	1 人	-	-
	独創性があり、評価ができる研究水準が確保されているか					
	スケジュール、研究手法、実施体制は適切か					

課題名：PM2.5 の経年変化解析及びレセプターモデルによる発生源寄与の推計と

検証（新規）

評価項目	評価の視点	評点				
		5	4	3	2	1
課題設定の背景と必要性	県としての考え方が示されているか	3 人	-	1 人-	-	-
	センターとして（参画の妥当性）の考え方が示されているか					
優先性	社会的意義（行政上の緊急性や県民ニーズなど）の考え方が示されているか	1 人	3 人	-	-	-
	科学技術の動向や実用性などの考え方が示されているか					
計画の立案と実施方法	明解な目標が立てられているか	1 人	3 人	-	-	-
	独創性があり、評価ができる研究水準が確保されているか					
	スケジュール、研究手法、実施体制は適切か					

課題名：酒匂川における環境 DNA を用いた両生類の季節的出現パターンの解析(新規)

評価項目	評価の視点	評点				
		5	4	3	2	1
課題設定の背景と必要性	県としての考え方が示されているか	2 人	1 人	1 人	-	-
	センターとして（参画の妥当性）の考え方が示されているか					
優 先 性	社会的意義（行政上の緊急性や県民ニーズなど）の考え方が示されているか	-	4 人	-	-	-
	科学技術の動向や実用性などの考え方が示されているか					
計画の立案と実施方法	明解な目標が立てられているか	2 人	1 人	1 人	-	-
	独創性があり、評価ができる研究水準が確保されているか					
	スケジュール、研究手法、実施体制は適切か					